1896 明治三陸地震津波報告書・目次

第1	節 津波とは
1	津波発生のメカニズム
2	津波の伝播速度
3	津波の周期
4	津波と通常の波浪の違い10
5	津波の浅水変形
6	津波の屈折
7	港湾内の津波の共振
8	津波の高さの定義
第2	2節 明治三陸地震津波の発生
1	津波地震の発生要因
2	地震の規模について
3	津波の規模と津波地震16
4	津波地震の発生メカニズム
第3	節 津波の来襲状況
1	津波来襲当日の気象
2	観測された地震
3	津波の来襲状況
4	測定された津波高
	 (1)測定者について 25 (2)伊木常誠の測定 25 (3)山奈宗真の測定 27 (4)松尾春雄の測定 29 (5)その他 29

(6) 明治三陸大津波打ち上げ高分布 30

第3章 第1節 被災状況 2 3 被害統計 1 3 4 第3節 津波被害額の推定 $\cdots \cdots 42$ 1 ------43 2 岩手県の被害 3 青森・岩手・宮城三県の被害総額推定 ………………………………………………………………………44 4

第1	節 行政の対応状況
1	被災地での医療看護47
	(1)被災地の衛生維持 47(2)医師、看護人等の派遣 48
2	(2) 区職、有股八寺の派遣 40 治安の維持
2	(1)家財の盗難・略奪 49 (2)物価の高騰 49 (3)風評 50
3	中央政府の対応
4	岩手県の対応

5	青森県の対応
6	宮城県の対応
7	その他有志者による対応
第2	節 救助金、義援金及び援助物資
1	救援金の種類と総額
2	備荒儲蓄金の金額と配分方法
3	政府救助金
4	救助金使用に関する内務大臣訓令と3県合意62
5	義援金及び恩賜金
6	義援品
7	義援行為の行賞

第1節 被災者支援
 被災地取り片づけ
2 応急住宅
(1) 被災直後の居住環境 71
(2)約2か月後の環境 72 (2)22月後の環境 72
(3)3か月後の環境 73 (4)4か月後の環境 74
(5)5か月後の環境 75
(6) 翌年3月 75
(7)1年後の環境 76
(8) 小屋掛の費用 76
第2節 交通・通信の被害と復旧
第2節 交通・通信の被害と復旧
1 交通の状況
1 交通の状況
 2 通信の状況 第3節 経済・産業への影響
1 交通の状況
1 交通の状況 78 2 通信の状況 80 第3節 経済・産業への影響 85 1 津波後の経済状況 85 2 製塩業への影響 85

6 垂	『便貯金の払い戻し	 85
コラム	つなみてんでんこ	 87

第6章 明治三陸津波災害からの復興(首藤委員・越村委員)
第1節 家系や集落の復興89
第2節 高地移転
第3節 町並みの復興・整備――釜石町の場合
第4節 学校の再開
 学校・教員・生徒の被害
2 授業の再開
第5節 漁業の復興
1 漁船の被害
2 漁業者の被害
3 漁業の復興

第7章 明治三陸地震津波災害の教訓と総合的津波対策への示唆 (首藤委員・越村委員) ……105

第1節 津波の多	様性
第2節 津波時の	緊急避難
1 生死を分ける	5避難の遅速
2 避難の目印	
3 高台への避難	筆
4 避難路の整備	节 ·····108
第3節 被災直後	の対応109
1 緊急応援の拠	109 山点と人材
2 緊急応援及ひ	が遺体処理
3 連絡網及び這	貨路の確保
4 津波時の火事	₮111

5 衛生状態の確保――飲料水――
第4節 津波防災その1—-防災施設—- 112
1 防潮堤
2 防潮林
第5節 津波対策その2 — 津波に強いまちづくり —
1 高地移転とその後
 2 耐浪建築
(1)堅固な建物 115 (2)浮力や波力の働きにくい構造 115
(3)脱出口を備えた建物 115
3 沿岸での貯蔵方法 ――危険物としての油――
第6節 防災体制
1 災害文化の継承
 2 防災教育「稲むらの火」の原本
第7節 現在の総合的津波対策への示唆
コラム 津波に対する誤った思い込みの危険性
参考文献(越村委員)

第8章 資料原文 (首藤委員) ······125

第2章「明治三陸地震津波」で引用した資料の原文
第3章「明治三陸地震津波による被害」で引用した資料の原文
第4章「行政の応急対応」で引用した資料の原文
第5章「明治三陸地震津波災害からの復旧」で引用した資料の原文
第6章「明治三陸津波災害からの復興」で引用した資料の原文
第7章「明治三陸地震津波災害の教訓と 総合的津波対策への示唆」で引用した資料の原文

災害概略シート ······164